

平成19年度

自主防災だより

～「自主防災の活動事例」～

<稲穂連合町内会で災害頭上訓練>

<手稲区>

～避難場所の自主運営について考える～

平成18年11月24日に稲穂会館で、稲穂連合町内会災害頭上訓練が行われた。

これは、大災害が発生し家屋の倒壊・ライフラインの寸断などが引き起こされ、着の身着のまま避難した人々が、避難場所で生活するための組織体制を作るためにはどのようなことが必要かを議論し理解を深めることを目的に、稲穂連合町内会（一ノ宮博昭会長）が主催したものである。

当日は、区域内的の町内会長・民生委員だけでなく、手稲区・手稲消防署・手稲警察署の担当者を含め、約60人が参加した。



頭上訓練としたのは、参加者が実際の災害でボランティアとして避難場所で体験したことを話し、これを基に、避難場所ではどのような規律・役割が必要かを頭上で考え、議論し、模造紙に記入する手法で行ったことから、簡易型災害図上訓練（DIG）ではなく、頭上訓練と題して行った。

ある災害で避難場所ボランティアをした町内会役員が「被災者は被害者意識を持っているのは分かるが、食事を配給するボランティアに対し、<こっちに早くよこせ>と威圧的な態度を取ったりしてしまう人が出た。これでは、避難場所での共同生活に亀裂が生じます。我々がリーダーシップを持って、可能な限り全員に役割を与えていく必要があります。」と報告した。

このような災害現場での切実な現実を、多くの参加者は真剣な表情で聞き入っていた。

<まとめ>

この日は、災害発生から避難場所での生活を始めるまでの取り組みについて、様々な意見が出された。暁星第四町内会（木村盛一会長）から、「各学校の体育館などに、災害で避難してきた際にまずやるべきこと（ルール）を掲示しておくのはどうか」という意見が出され、参加者全員が拍手したところで訓練は終了した。

一ノ宮会長は、「たくさんの意見・体験をお聞きすることができました。これらをまとめて再びみなさんと議論し、町内会・避難場所でいざという時に備えるマニュアルを作ることを目標に町内会での取り組みを進めます。」と感想を話していた。



伏古本町安心安全なまち連絡協議会・町内会による <東区> 8 町内会合同防災訓練開催！！



平成 19 年 6 月 10 日、快晴の空の下、東苗穂たんぼぼ公園にて伏古本町地区の 8 町内会が合同で大人・子ども合わせて約 230 名の方の参加による防災訓練を行いました。当日は震度 6 の地震が発生したという想定の下、一時避難場所である同公園に避難するところから始まりました。

公園入口に設置された煙道をくぐって集合。

町内会ごとに避難者を確認し、会長、東消防署長の挨拶後、各種訓練を開始しました。

防災資機材の中の布バケツと折りたたみ式の担架をつかった消火訓練と担架作成・搬送訓練、AEDを使った救命訓練と応急処置訓練など、東消防署・東消防団の指導により、訓練を行うことが出来ました。



そのほか、給水車・救急車の展示、放水訓練、ロープの結索訓練を行うとともに、はしご車の体験試乗も行うなど、訓練に参加した子どものみならず、大人も貴重な体験をしました。

机上の訓練と避難場所体験

<豊平区>

簡易型災害図上訓練（DIG）と 現地調査

平成18年8月28日、中の島地区町内会連合会では、中の島中学校においてDIGを実施しました。なごやかな中にも、活発な討論が行われました。

その2日後、DIG参加者による現地調



査も行われました。DIGの中で気づいたことをさらに現地で確認し、危険な物・場所をしっかりと認識し、自主防災に役立てようとの取り組みです。

主催：中の島地区町内会連合会

協力：豊平消防署、豊平区役所

冬の災害避難場所体験

平岸中の島少年消防クラブの主催で、平成19年1月13～14日に中の島小学校において、冬の災害避難場所体験が実施されました。冬の体育館の寒さを改めて実感するイベントでした。

また、札幌市無線赤十字奉仕団による無線体験、自衛隊による中



越地震への派遣体験発表、警察による災害時の防犯講習、消防レスキュー隊によるロープ渡り実演、NPO法人災害救援ネットワーク北海道による災害ボランティアセミナーなどが開催され、大人も子どもも様々なことを学び、体験しました。

主催：平岸中の島少年消防クラブ

協力：豊平消防署 陸上自衛隊 豊平警察署 豊平区

平岸町内会連合会 中の島町内会連合会

札幌市無線赤十字奉仕団 札幌市赤十字奉仕団

(財)札幌市防災協会 (株)ムラカミ

NPO法人災害救援ネットワーク北海道 など



札幌市民防災団体連合会

～「市長と“おしゃべり”しませんか」の開催～

平成19年6月2日に、札幌市民防災団体連合会*主催による「市長と“おしゃべり”しませんか」が、市長公館で開催されました。

当日は、約65名の方が参加して、「市民防災活動の推進について」をテーマに、活発な意見交換が市長と行われました。



当日の“おしゃべり”の内容は、市役所のHPで公開していますが、主なものは次のとおりです。

- ◎簡易型災害図上訓練(DIG)への支援
- ◎避難場所の充実
- ◎個人情報保護法と災害弱者
- ◎災害による孤立地域の把握
- ◎防災資機材の保管場所・内容
- ◎防災白書の作成 等

※市民の声を聞く課（市長とおしゃべりしませんかHPアドレス）

<http://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/chat/index.html>

※“おしゃべり”でのご意見・ご要望については、今後の自主防災推進事業の参考とさせていただきます。

※ 札幌市民防災団体連合会の概要

平成17年9月に、「市民自治の精神に基づき、広域の防災活動を通じて、時計台の鐘が鳴る美しい札幌のまちの安全と安心に貢献する」ことを目的に設立。防災表彰の受賞団体を中心に59団体（H19.6現在）が加盟。

【主な活動】

- ・情報紙「札幌 市民防災」の発行
- ・各種研修会の実施
- ・札幌市と共催で自主防災セミナーを開催 等

発行：平成19年7月

札幌市危機管理対策室 Tel.211-3062



さっぽろ市

02-P 00-07-395

19-2-68